

会 議 名	第 1 回港区長寿を祝う集い芸能業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和 7 年 5 月 9 日（金曜日）午後 4 時から午後 5 時まで
開催場所	保健福祉支援部会議室
委 員	保健福祉支援部長 新宮 弘章（委員長） 高齢者支援課長 白石 直也（副委員長） 麻布地区総合支所区民課長 川口 薫（委員） 高輪地区総合支所管理課長 小笹 美由紀（委員） 介護保険課長 清水 雅美（委員）
事 務 局	高齢者支援課高齢者福祉係
会議次第	1 開会 2 選考委員会選考スケジュール（案）について 3 事業候補者募集要項（案）について 4 採点基準表（案）について 5 閉会
配付資料	〔席上配付〕 資料 1 港区長寿を祝う集い芸能業務委託事業候補者選考委員会設置要綱 資料 2 港区長寿を祝う集い芸能業務委託事業候補者選考委員会委員名簿 資料 3 港区長寿を祝う集い芸能業務委託事業候補者の審査方法及び選考スケジュール等について（案） 資料 4 港区長寿を祝う集い芸能業務委託事業候補者募集要項（案） 資料 4－2【別紙 1】港区長寿を祝う集い芸能業務委託仕様書（案） 資料 4－3【別紙 2】港区長寿を祝う集い芸能業務委託事業候補者選考基準（案） 【様式 1】質問書 【様式 2】参加表明書兼参加資格審査申請書 【様式 3】共同事業体構成書 【様式 3－2】共同事業体協定書兼委任状 【様式 3－3】委任状 【様式 4】事業者概要及び業務実績 【様式 5】業務従事予定者の経歴及び専任性 【様式 6】業務従事予定者の配置計画及びスケジュール 【様式 7】企画提案書① 【様式 7－2】企画提案書② 【様式 8】プロポーザル参加辞退届 資料 5 採点基準表（一次審査）（案） 資料 6 採点基準表（二次審査）（案）

会議の内容	
事務局	【1 開会】 (事務局より開会の挨拶、当該事業の説明及び配布資料の確認) (要綱第4条第2項に基づき、新宮委員が委員長) (要綱第4条第3項に基づき、白石委員が副委員長) 【2 選考委員会選考スケジュール(案)について】 (事務局より港区長寿を祝う集い芸能業務委託事業候補者選考の審査方法及び選考スケジュールについて説明) 【3 事業候補者募集要項(案)について】 (事務局より資料3について説明) 【4 採点基準表(案)について】 (事務局より資料4、資料5及び資料6について説明)
事務局	見積額に関する評価について、低価格ほど高評価ではなく、なるべく予算通りの金額の業者を高得点としてはどうかと考えます。
委員長	見積額に関する評価について意見はありますか。
A委員	(異議なし)
事務局	仕様書の項番4に令和6年度と記載があるが、令和7年度に修正してください。資料6採点基準表の二次審査の合計点は1500ではなく1725かと思います。契約係にも確認してください。また、昨年開催時の参加者のアンケート結果を各委員に共有してください。
B委員	2点確認し修正します。アンケート結果は、一定程度まとめたものを会議終了後に情報提供します。
事務局	資料5の2(2)ウのところに、「参加者にとってなじみがあり」という表現とエのところに、「フラットな客席から見やすい」とあるが、意味合いを教えてください。
B委員	まず、「フラットな」については、会場が劇場型ではないため、客席と舞台の高さが同じであることを説明しているものです。「なじみがあり」については、参加者に親しみを持って楽しんでもらう意図としていますが、分かりやすい表現に修正します。
A委員	文章を直した方がいいと思います。
C委員	例えば、舞台と客席が平面であるなどと表現してはどうですか。そのように工夫してほしい。
	今後、演者名の公表後に区の都合で変更を依頼することや、演者自身がSNS等での情報発信などの制限のことなどの記載があった方がよいのではないかと思います。やはり、情報があふれる中、演者名を見て、いろいろな捉え方をする方もいると思います。

事務局	記載の表現を工夫します。
A委員	受注者は、芸能人のスケジュール調整が大変だと思いますが、発注者側との相談の余地があることの記載があるのはいいと思います。
D委員	契約後に、何か不適切な事項が生じて、別の人に交渉の余地ができるような記述を入れることをお願いします。
E委員	資料5の2の(1)の業務従事予定者の配置計画とありますが、適切な配置がわかりづらいです。昨年、どういう形でやっていたのですか。
事務局	昨年は、提案時に従事者の配置状況というのはありませんでした。やはり、当日に時間管理も含め、全体調整をする方は必ず必要です。司会者と演者とのコミュニケーションに区担当者が入るわけではないため、実施体制を示してもらい、実現性があるのかを評価していただきたいと思っています。
A委員	例えば、当日はこういう配置であったとの結果を共有できれば、おそらくそれが一つの指標になると思います。昨年度は、例えばディレクター1、マネージャー1とか出演者が何人とかそういった構図がわかるような資料があれば、評価しやすいと思います。
事務局	A委員の意見も踏まえ、情報提供します。
E委員	冒頭にもあったアンケートの結果も併せて、情報提供をお願いします。
D委員	情報提供があれば、委員の共通認識も進み、イメージが湧くと思うので、お願いします。
委員長	あとは実際に採点する中で、やはり初めての案件のため、いろいろな疑問が出てくると思います。その都度、事務局に問い合わせいただきながら、協議をして欲しいと思っています。
A委員	資料6の最後のページについて、総得点数がおそらく125点足りないと思っています。前のページでまず5名の合計点数、その下に1次審査総得点があって、これは加点項目があるからだと思っています。
事務局	今の内容は確認するが、いわゆるプロポーザルガイドラインに従い、1次審査と2次審査の点数の比率をおよそ2対1としています。そういう意味で1次審査1000点、2次審査500点で2対1に沿って、作成したものです。
A委員	計算上、枠外になっていたため、念のための確認です。
事務局	確認します。
委員長	一応確認してください。
	それでは、必要な箇所の修正、補足資料をそれぞれの委員に示していただくということでお願いします。また、いただいた意見の最終的な反映については委員長一任とさせていただきますが、よろしいですか。
	(異議なし)
委員長	そのようにさせていただきます。

事務局	それでは、本日出された意見を踏まえ、事務局には5月12日の公募開始に向けて作業を進めていただきます。 予定した議題は以上です。最後に事務局から連絡事項をお願いします。 改めてスケジュールを申し上げます。5月12日に公募開始でホームページに掲載します。短期間ですが準備を進めます。質問の締切は20日、22日までに情報提供をさせていただき、各委員への採点表、応募書類の送付は6月13日を予定しています。第2回の選考委員会は、17日午後4時からで予定しています。応募状況によっては、若干の時間の調整を相談させていただきたいと思っています。では、忙しい中、タイトなスケジュールで恐縮ですがよろしくお願いします。 【閉会】 (委員長より閉会の挨拶)～詳細省略～
-----	--